



第4回

海草支部

和歌山市支部

那賀支部

伊都支部

有田支部

# 紀州さんぽ散珠つなぎ

日高支部

田辺支部

串本支部

新宮支部

## 「古き良き街並み散歩」



JR和歌山線高野口駅

那賀支部よりバトンを受け、伊都支部からは今も古い木造建築物が残る橋本市高野口町の町並みを紹介致します。

まずは町の玄関口【JR和歌山線高野口駅】この駅舎は明治45年1月に建てられた木造駅舎で、明治33年の開設当初から、その名の通り高野山参詣の登山口として賑わいました。現在、鉄道としてのその役目は南海高野線に譲ってはいますが、当時は高野山を目指す人の列が途切れることが無かったそうです。



葛城館

駅を一步出ると、真正面にガラス障子張りの外観が印象的な旅館【葛城館】が目飛び込んで来ます。この旅館、現在は営業していませんが、明治33年に、建てら

れた当時としては珍しい木造3階建。2001年に築100年を迎えるに当たって有形登録文化財に指定されました。残念ながら内部は通常非公開なのですが、人力車や常連客の板札、料金表のチラシ(パンフレット?)等、営業当時そのままに残されており町のイベント等に合わせて公開されることがあります。

駅前大通りを南に下ると、通りの西面に【前田邸】が見えてきます。こちら有形登録文化財指定の木造建築物で、江戸時代の母屋、明治時代の小座敷、大正時代の大座敷・土蔵からなる町屋です。日曜日10:00~15:00の間、公開されています。庄屋を務めた事もある薬種業を営んでいた旧家の邸内には江戸

期~昭和にかけての収蔵品が多数展示されており、貴重な町の美術館として親しまれています。また、この前田邸で発見された引き札(昔の木版刷りカラー広告チラシ)のうち、現在も営業している店の引き札は、それぞれ店頭飾られているので移動の途中で探してみるのも一興です。



前田邸

更に南進した後、国道24号線を西に向かうと100m廊下(実際には98m)で有名(?)な【高野口小学校】に到着。こちらにも昭和12年に建てられた趣深い木造の校舎があり、今も子供達が勉学に励んでいます。この校舎は現在も使用されているので一般公開はしていませんが、NHK連続TV小説『芋たこ



高野口小学校(廊下)

なんきん』のロケに使用された事もあり、【前田邸】と共に橋本市のフィルムコミッション事業の一翼を担う建物となっています。

その他、周辺には『紀の国名水』に選ばれた【瀧の井戸】や、嵯峨天皇(在位809~823年)ゆかりの【垣花大師堂】、和歌山県重要文化財指定の五輪塔がある【地藏寺】、桜の名所【高野口公園】、また、隣町の九度山町まで足を伸ばせば、世界遺産の【慈尊院】や同じく世界遺産の【丹生官省符神社】、真田昌幸・幸村父子が蟄居していた【真田庵】等々、国宝・重文級の建物や遺物が、健脚の方であれば一日で歩いて回れる範囲に沢山あるので、是非お立ち寄り下さい。健脚でない方も高野口駅前にはヒマそうな(失m( )m札)タクシーが止まっていますので、お気軽にどうぞ。

周辺地図は橋本市観光協会のホームページ<http://www.hasimoto-kanko.com>からダウンロード出来ますのでご利用下さい。

伊都支部 大川嗣久 浮船芳秀 田中正俊